

公立大学法人福岡女子大学「はばたけ“なでしこ”研究者たち」

福岡女子大学は、平成 25 年 11 月に女性研究者支援室を学長直下の組織として設置した。現在、国際文理学部（国際教養学科、環境科学科、食・健康学科）学生数 1,008 名、大学院生 26 名の規模で、教員 86 名中女性教員 35 名（40.7%）という比率である。国立大学の女性研究者比率が 14.1%であることに比べると高い女性比率ではあるが、教授職になると 17.1%である。

本学の女性研究者支援の目的は、大きく 2 つ。第一に、教育・研究・大学運営を牽引する女性研究者の育成（上位職の増加）と、第二に、大学院への進学率の上昇（裾野拡大）である。これらの目的に沿って以下の事業を行っている。支援室の構成員は、室長・副室長・スタッフ 3 名である。

【上位職の増加】

- ① 短期海外派遣研修：海外の研究・教育機関で、研究・教育の内容や制度を学び、経験することによって上位職としての資質を養成する。対象は、女性教職員で教員の場合は助教から准教授まで。
- ② 女性大活躍推進宣言：女性の大活躍推進福岡県会議において、女性の大活躍推進に関して下記の通り目標の達成に向けて取り組むことを宣言し、平成 26 年 7 月 30 日に自主宣言登録された。

【裾野拡大】

- ③ 院生インタビュー：現役院生の研究テーマ・研究内容や院生生活などをインタビューし、「わたしの研究ライフ」としてホームページで紹介。学部生に大学院を身近に感じてもらい進学を促進する。
- ④ ロールモデル・セミナー：現役の女性研究者を講師として、研究職に就いたプロセスやワーク・ライフ・バランス）について講義。主にロールモデル集の対象者で本学の卒業生を講師とする。
- ⑤ ロールモデル集：本学の卒業生で、大学・企業等の女性研究者もしくは技術者または本学の教員を対象にロールモデル集を作成。支援者制度の支援者に登録した学生から 7 名をインタビュー・アシスタントとして活用。女性研究者のキャリア・パスを知ることによって学生のキャリア形成支援ともなる。
- ⑥ 地域連携セミナー：福津市と連携して小学生・女子中高生と保護者を対象に理系進学を促進するための理科実験教室を実施。学生と実験しながら、理系進学のプロセスと卒業後の進路を聞く。

【環境整備】

- ⑦ 支援者制度：育児・介護中の女性研究者（男性研究者も対象）に研究支援員を配置。2014 年度は 29 名の学生・院生が支援員に登録。うち 6 名が支援員として活動している。
- ⑧ 一時保育：通常利用している保育施設での保育が困難な場合に本学の保育室一時的な保育を受けられる。教員だけでなく学術研究員も対象であることと研究のためにも活用できることが特徴。

【意識改革】

- ⑨ 外部資金獲得セミナー：女性研究者の研究力向上のため研究戦略についての講師を招き、科研費等の外部資金の申請書のポイントについてセミナーを実施。
- ⑩ シンポジウム：女性研究者支援ならびに大学の男女共同参画についての理念や意義を学内に啓発。
- ⑪ アンケート調査：2013 年度、事業開始にあたって学内の教職員の意識とニーズ調査のため、教員 93 名、事務職員 60 名に実施。回収率 65.4%。2014 年度、事業 2 年目の検証と教職員の意識の変化と新たなニーズ調査のため実施予定。

【連絡先】 公立大学法人福岡女子大学 女性研究者支援室

TEL : 092-692-3104 (直通) FAX : 092-661-2420 E-mail : frsupport@fwu.ac.jp

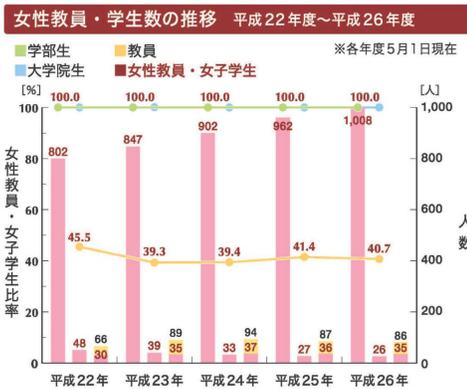
URL <http://www.fwu.ac.jp/frsupport/>



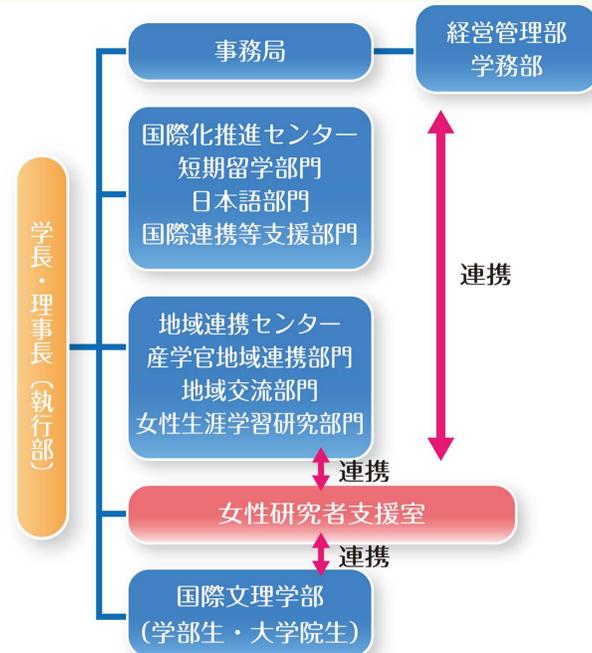
はばたけ“なでしこ”研究者たち

公立大学法人福岡女子大学 女性研究者支援室

教員・職員・学生数



組織図



上位職増加

短期海外派遣研修

海外の研究・教育機関で、研究・教育の内容や制度を学び、経験することによって上位職としての資質を養成する。対象は、女性教職員で教員の場合は助教から准教授まで。年間2名を派遣。
2014年度は、イギリス・エジンバラ大学（派遣済）とアメリカの大学に派遣予定。

女性の大活躍推進宣言

女性の大活躍推進福岡県会議において、女性の大活躍推進に関して下記の通り目標の達成に向けて取り組むことを宣言し、平成26年7月30日に自主宣言登録された。

「福岡女子大学では、平成25年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の目標に基づき、女性研究者の上位職への登用を促し、5年以内に教授職の女性研究者を倍増します。また、機関の意思決定に係る役職者の女性比率を12.5%から25%にします。」



環境整備

女性研究者支援者制度

育児・介護中の女性研究者（男性研究者も対象）に研究支援員を配置。2014年度は29名の学生・院生が支援員に登録。うち6名が支援員として活動している。学生・院生にとっては大学院進学を促進するよい機会。

一時保育制度

職務の都合により家庭及び通常利用している保育施設での保育が困難な場合に本学の保育室一時的な保育を受けられる。教員だけでなく学術研究員も対象であることと研究のためにも活用できることが特徴。



裾野拡大

院生インタビュー

現役院生の研究テーマ・研究内容や院生生活などをインタビューし、「わたしの研究ライフ」としてホームページで紹介。学部生に大学院を身近に感じてもらい進学を促進する。

ロールモデル・セミナー

現役の女性研究者を講師として、研究職に就いたプロセスや研究と生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）について講義。研究職を進路の選択肢とする学生の増加をめざす。主にロールモデル・インタビューの対象者で本学の卒業生を講師とする。

- 第1回 10月20日（月）13:00-14:30
- 第2回 12月22日（月）10:30-12:00
- 第3回 1月26日（月）10:30-12:00

ロールモデル集作成

本学の卒業生で、大学・企業等の女性研究者もしくは技術者または本学の教員を対象にロールモデル集を作成。現在まで12名のインタビューを実施。支援者制度の支援者に登録した学生から7名をインタビュー・アシスタントとして活用。女性研究者のキャリアパスを知ることによって、学生のキャリア形成支援となる。

インタビューアシスタントの感想

先生はとにかくお仕事が大好きで、先生にとって仕事がかつて大切な時間とおっしゃっていました。大好きな仕事があるから育児も頑張ることができるって聞き、今まで仕事と育児の両立は大変なイメージだったのですが、仕事と育児の両立のおかげで心のバランスをとることもできるのだとわかりました。

今、私は3年生で就活セミナー真っ只中で夏休みにはインターンシップにも参加しました。周囲も私たちの年から大きく変わる就職活動に不安を覚え、最近では常にその話題が上ります。私も同調して不安や焦りを感じ始めていますが、自分の本当の意思としては大学院に進学したい…。そんな中インタビューに同行させていただき、先生のお話で背中を押されたように大学院に行きたいという思いが強くなりました。

大学・大学院について

Q4. この大学・大学院を選んだ理由は何かですか？

A. 九州大学の博士課程で学ばれていた先生を大学時代にお見かけし、とても頼もしく、あこがれました。その後も先生の研究や発表に興味、関心を持っていて、迷わず母校でもある当大学の大学院進学を選びました。

Q5. この大学・大学院の魅力は何だと思いますか？

A. 平成23年頃から大学1年生は全寮制で国際交流も盛んになり、アジアに近い九州ならではの研究ができるのではと期待しています。しかし、栄養健康科学では、他大学から福岡女子大学の大学院へ来た場合、2年間の勉強では十分成果が出せないと考えています。修士課程から博士課程へ進めるコースの開設を強く望んでいます。

Q6. この大学のお気に入りの場所は？

A. 新館3階の空中庭園、ガラス張りの校舎や教室です。数年前、金沢の21世紀美術館を訪ねましたが、その趣と似た空気があり、芝生や樹木がお天気によって変わる姿がとても癒されています。

意識改革

外部資金獲得セミナー

女性研究者の研究力向上のため研究戦略についての講師を招き、科研費等の外部資金の申請書のポイントについてセミナーを実施。
第1回 7月24日（木）「より良い研究活動を推進するために」
講師：上瀧恵子（九州大学研究戦略室）
第2回 9月16日（火）「科研費の審査員はどこを見るのか？」
講師：伊藤悦郎（徳島文理大学香川薬学部）



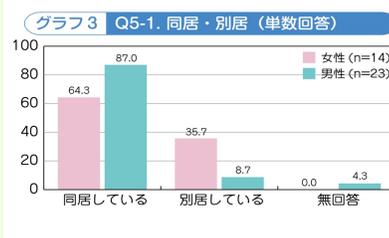
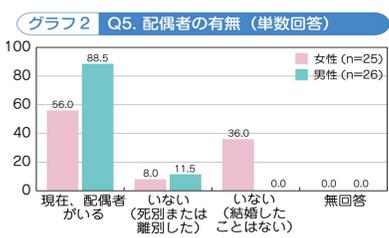
シンポジウム2014

女性研究者支援ならびに大学の男女共同参画についての理念や意義を学内の教職員に啓発。
6月13日（金）15:00-17:30
基調講演：郷 通子「なぜ、女性研究者支援が必要なのか」
情報提供：山村康子「女性研究者支援の政策と現状」
情報提供：松田美幸「女性の活躍促進の意義について」



男女共同参画意識調査

2013年度、事業開始にあたって学内の教職員の意識とニーズ調査のため、教員93名、事務職員60名に実施。回収率65.4%回答した女性研究者の36.0%が未婚、既婚者の35.7%が別居である。
2014年度、事業2年目の検証と教職員の意識の変化と新たなニーズ調査のため実施予定。



地域連携セミナー

福岡市と連携して小学生・高校生と保護者を対象に理系進学を促進するための理科実験教室を実施。環境科学科の学生と一緒に理科実験を行い、学生から理系進学のプロセスと卒業後の進路を聞く。

- 7月27日（日）「親子でなぞとき理科実験教室」
- 11月2日（日）「理系女子のススメー学園祭&サイエンスセミナー」

